

平成22年度事業の実績

I 教育研究組織の改編、新增設について

〈大学〉

中長期計画のもとに、経営改善計画（平成21年度～25年度）を策定しています。平成23年度から学科内を心理、英語コミュニケーション、現代コミュニケーション（新設）の3コースに改編するためカリキュラム改訂、教員募集など整備しました。

II 教育活動について

〈大学〉

① 建学の精神の実現：「人間学」「キリスト教学」「清泉講座」の科目の履修、清泉セミナー、クリスマス静修会、卒業静修会を行いました。

② カリキュラム：深い人間理解と高いコミュニケーション能力を持った人材の育成を目的に実践重視の教育を行っています。

③ 学部特別教育活動：教育活動（初年次教育及び授業改善、各種フィールドワーク、インターンシップ、放課後学習チューター、発達・学校支援活動、卒業演習・セミナー教育充実）、学生支援活動（就職支援、ボランティア支援、ピア・サポート、SJC英語研究会）、学生による地域貢献活動を行いました

④ 他大学との連携：県内8大学で「高等教育コンソーシアム信州」を結成し、文部科学省の「戦略的連携支援事業」に採択され、大学間ICTネットワーク講義（遠隔授業）を行いました。清泉女子大学と姉妹校留学、上智大学と学生交流協定による留学生を派遣しました。

〈短大〉

① 建学の精神の実現：「人間学」「キリスト

教学」の科目の履修、春の静修会と卒業静修会を行いました。

② 幼児教育科：幼児教育・社会福祉・児童文化の3コースを設けて、保育士資格、幼稚園教諭二種免許、児童厚生二級指導員資格取得に必要な科目を設置しています。

初年次教育・体験型プログラムなどコミュニケーション能力を備えた人間性豊かな保育者の養成に取り組んでいます。入学前教育、学科セミナー、保育者セミナー、総合演習、表現コンテスト、清泉フェスティバル（教科発表）などを行いました。

③ 国際コミュニケーション科：英語、ビジネス、国際交流、地域情報（新設）の4コースに改編、それぞれ関連する資格が取得できるように科目を設置しています。

初年次教育・フィールドワーク（地域活動）を中心とした社会人基礎力養成プログラムなど、コミュニケーション力や企画力の養成に取り組んでいます。入学前教育、オリエンテーションキャンプ、インターンシップ、ボランティア活動、就職・進路セミナー、清泉祭、清泉フェスティバル（教科発表）などを行いました。

III FD活動・自己評価について

FD活動（教員の資質向上）として学生による授業評価、研修会、兼任講師との懇談会等を行いました。

〈大学〉（財）大学基準協会の大学評価を受審し、「大学基準に適合」と認定されました。〈短大〉第二回外部評価を実施し、初年次教育など教育的成果を検証しました。

IV 国際交流について

韓国、モンゴルの他に、新にハワイのコレッジと学術交流協定を締結。語学文化研修プログラムを行い、参加者へ助成金を給付し経済的負担の軽減を図りました。また、

学生スタッフを組織し、清泉インターナショナルカフェなど学内イベントを行いました。

V 学生生活の支援について

学生生活満足度調査を行って実態を把握し、改善を行っています。

① 通学の支援：学生専用駐車場の整備、最寄駅と無料シャトルバスの運行、JR長野駅からのバス通学者へ料金の一部助成を行いました。

② 奨学金制度：「ラファエラ・マリア スカラシップ」（成績優秀者）、「夢チャレンジ賞」（文化スポーツ、ボランティア活躍者）、「緊急奨学金」（家計急変者）、泉会（保護者会）による「泉会奨学金（貸与）」など、学生のニーズに合致した奨学金制度の充実を図っています。

③ 学生相談室：臨床心理士の資格をもつ教員3名と非常勤職員1名を相談員として、学生のメンタル面のサポートを行いました。

VI キャリア支援

キャリア支援センターにおいて、キャリア

ア系科目の開発、ガイダンス、企業見学・説明会、保護者懇談会、就活ガイドブックの作成、公務員対策講座、編入学や留学の指導などを行いました。これらの一連の支援「自ら考え行動できる人材育成のための総合的就職支援プログラム」は、文部科学省の大学改革推進事業に採択されています。また、雇用情勢の悪化に対して教職員による企業訪問の強化、ハローワークジョブサポーターによる学生相談を行いました。

VII 教員の研究活動について

教育文化研究所の在り方を抜本的に見直し、学内科研というべき中核の共同研究に

ついて明確なルール化を図りました。教員相互の研究交流会、「研究紀要」「教育文化研究所報」「研究者一覧」の刊行などを行いました。

VIII 保護者、地域との連携について

① 保護者等との連携：泉会（保護者会）総会・就職情報交換会の開催、「カレッジ通信」の発行を行いました。愛泉会（OG会）と協働で、卒業生向け「ニュース・レター」を発行しました。

② 地域との連携：地域連携センターにおいて、国際交流、学生ボランティアの派遣、高大連携、生涯学習講座、特別講演会、高校や公民館等への教員の出張講座などを行いました。地域フォーラムや「地域連携センター報」などでその成果を学内外へ発信しています。

③ 自治体等との連携協定：地域貢献及び地域に貢献できる人材の育成を目指して、長野市、小川村、NPO法人と連携協定を締結し、教育・文化・学術等の連携事業を行いました。

IX 施設設備の維持・充実について

情報処理室の機器更新、サーバールーム構築およびネットワーク改修工事などICT基盤を強化しました。周年記念事業として、会議室と研究室の増設、図書館閲覧室、R館トイレの改修を行いました。

X 管理運営、財政基盤の充実について

文部科学省の経常費補助金（特別補助）、大学改革GPなど外部資金の獲得にふさわしい教育プログラムの計画・実施を念頭に予算措置を行いました。経費の削減を図り効率的な執行に努め、計画的な財政運営や健全経営などの取り組みを行いました。